



母校、創立20周年 記念式典開催さる

去る九月十四日午前十時より、母校体育館において創立二十周年を祝う記念式典が挙行された。式は開式の辞、事業報告と母校の二十年の歩みが紹介され、厳粛な中で式がおし進められた。会場には第一学年生と在校生の保護者を中心に七百余名が出席、「順風満帆の目ばかりではなく」との学校長の式辞が、来年度の中学校開設をして六ヶ年間の中高一貫教育の話におよぶと、母校の着実な歩みと発展への期待が会場を包んだ。

同窓会からは会長の大阪谷良弘氏、幹事長の緒郷春久氏などが出席し式典を祝った。

また、二十周年記念事業は全て完成され、仮称第二体育館は東館と銘された。東館の一階はトレーニング場としてコンベンション・マシンやエアロ・バイクなど最新の機器が設置され、二階は多目的ホール、三階は特別教室として活用されることになった。その他各教室には冷暖房設備が整い、学習環境は一段と強化された。

この輝かしい二十周年を機にさらなる母校の発展を祈念する
しだいである。

同窓生の

皆さんへ

同窓会 会長
大阪谷長弘（第一期）



「我が母校城西は、川越市北區、

国道二五四号線と入間川が交差する落合橋付近に位置し、周囲を田んぼに囲まれた白い校舎の学校です。」と聞けば、皆さんも私と同様に城西高校バス停から学校へ向かう情景を思い浮かべてくれることでしょう。その母校が、今年で二十周年を迎えました。

さて、先自行われました二十周年記念式典の様式ですが、同窓会からは、私と幹事長の猪俣孝久氏、企画委員の清水良助氏の三名が出席しました。式典では、新藤直夫校長や斎藤元良副校長から、学校の発展に注いだ情熱や創立以来の様々な苦労話も聞かれました。当初は城西大学の付属高校としてスタートした母校も、今では他の一流大学への進学の実績を持つ名門

校に変わりました。それも後輩達の努力は元より、教職員の方々が熱心に導いてくださったお蔭で、感謝の気持ちで一杯です。今後も後輩達には、希望大学への進学を成功してもらいたいと思います。そんな中、この二十周年記念事業で行われた園地設備の充実は、在校生に効率的な高い学習を可能にさせるでしょう。そして、生徒を取り巻く全てのものが画一的となつた今、後輩達が母校の受産生に打ち勝つて行くのに必要不可欠なものとなるでしょう。

また皆さんの在学当時の頃を、思い出してみましよう。議員選挙、議員バス、バス停からの田んぼまで、学校に向かってくる自分

の姿を思い浮かべてみて下さい。皆さんは、卒業してから一度でも母校を訪れたことがありますか。もし無いのなら、成長した母校を一度見に行ってみて下さい。皆さんが築いた三年間の歴史を思い出し、消える事なく校舎や校庭に必ず残っています。先生方は卒業生を待っています。そして、昔話に花を咲かせて下さい。

同窓会でも、三年後には設立二十周年を迎えることになりました。その年が、母校同様に本会の大きな飛躍の年となるよう、創刊号でお話したように、支那作り、情

報交換の場作り而努力して行きたいと思えます。また、けやき祭は、毎年九月に開かれています。年に一度は同窓生が母校へ行き、寛いでもらう場を作る為、けやき祭への参加も考えています。

学校長式辞

(要旨)



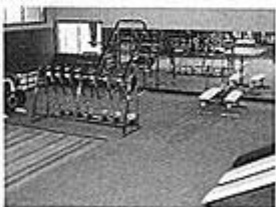
本日は、創立二十周年の記念式典に当り、公私御多忙の折、ご臨席賜わり、厚く御礼申し上げます。創立依頼二十年前という年月は、私も当事者の側からだけ振り返ってみますと、必ずしも順風満帆の日々ばかりではなく、幾多の苦難に満ちた日々がありました。人生にたとえてみればようやく二十才の成人を迎えたに過ぎません。

さて、若い生徒諸君は体験しておりませんが、戦後を生きた者にとっては、豊かさの中に育った諸君には想像のできないような飢え

へと、我が国の今日の繁栄は目覚ましいものがあります。一方で、物質文明のみが重視され、精神文明を軽視する風潮を憂えた本学園創立者、新藤富五郎先生は、「人間の幸せは、物質的に恵まれる事も大切ですが、それ以上に、心の豊かさ・精神文明こそ真の幸福である」と看破し、報恩感謝の四文字にその精神を具現化致しました。本学園創立以来、本校教職員は、先生の教育理念を具体化すべく、努力ではあります。努力してまいりました。今後ともより一層努力致す所存です。

本校も、いよいよ来年度より中学校が新設され、六年間の一貫教育の理想に一步を踏み出すことになりました。今までに増した険しい道程ではありますが、心して大人の世界に仲間入りしたその責任を自覚して、逞しい信念を掲げなくてはならないと存じます。

創立以来、各方面にわたって御指導、御鞭撻を賜りました各位には、ここにあらためて感謝申し上げます。かつ又、二十周年記念事業に御支援いただき、心より御礼申し上げます。今後ともなお一層の御支援、御助力をお願い申し上げます。御挨拶といたします。



東館・遂に完成！



梁谷 光毅
(四期卒)

平成元年四月に私は、東京都内にて中学生頃よりの夢であり自願であった接骨院を開業しました。

母校を卒業後、開業を夢みつつ、江戸時代の昔から、全国津々浦々で「骨つぎ」として地域住民に信頼を集めてきた医療職の資格を手にし約十年後のことです。開業までの間、接骨院での研修を数年行い、骨折、脱臼、打撲、捻挫等の治療はひととおり行える様になった頃、医療専門誌、新聞等である有名な整形外科の外傷治療が医療業界で一つの旋風を巻き起こしているのを知り、いてもたってもいられず、その病院の門をたたき、最新の治療及び、手術の限界、保存的治療の限界の両面を体験し、更に、私が本来、接骨院で取扱う骨折等を手直しして治療する技術の研究・治療をその病院のチーフとして修得し実行いたしました。

をスタートさせるに至りました。現在、二人のスタッフと共に様々な治療は、もちろんのこと患者さんのコミニケーションを大切に、たえず医療職の基本的条件を考へながら、技術や専門的知識や能力だけでなく、いつ・どこでも良いコミュニケーションが作ることが出来る能力を心づかいを忘れず、自らを教育し患者さんの心を洞察する能力への努力・自己の精神的成長を目指し、日夜頑張っております。

大学院では幸運にも、すばらしい指導教授とめぐりめぐることが出来、最短期間で学位(法学博士)を授けられました。この論文は『現代国際情報宣伝法の研究』という書名で新着号から公刊されています。現在、駒沢大学法学部と武蔵野短期大学(埼玉県狭山市)で、国際法の講座を担当しています。

これはど思われた時代は無いともいえるでしょう。このようなときに、どれほど独創性を発揮できるかが今後の私自信の課題です。最後になりましたが、皆様のご発展を心よりお祈り申し上げます。

先生と生徒は理の師弟関係であり色々と気軽に相談ののって頂きました。今年で開校20周年目ということで、伝統もですばらしい校風というものがあり、我々の時代には体験できなかったことも多々作り上げられてきたことと思います。高校卒業後は明海大学歯学部(元城西歯科大学)に進学し、現在同大学の小児歯科学講座に勤務しております。大学病院の歯科は細分化されており、成人については、歯につめ物をする所、歯を動かす所など、約10種類の診療科があります。その中で私は、小児歯科に属しております。小児歯科というのは、名前の通り子供たちを対象とした歯科で、対象年齢は子供の歯(乳歯)が作り始められるお母さんのお腹の中にいるりから、大人の歯(永久歯)が全て萌え揃う13、14歳までとなっております。その年齢であれば全ての治療をする科です。その中で、学生の教育、臨床、研究と精進する毎日ですが、とても充実しています。自分自身これからも頑張りたいと考えています。最後になりましたが、これからの同窓生、母校の発展を心からお祈り申し上げます。

OBだより 頑張ってます!!



洋 齊藤 洋
(四期卒)

を質問されたらと想像するだけで、とても緊張してしまったり、さらには四期生の清水良昭です。城西川は高校には、昭和50年に入学し、53年に卒業しました。その当時、高校にはまだ伝統とかというものもなく、自分たちがこれから作り上げていくのだという、先生も生徒も一緒になって活動に高燃えしていました。また、勉強や受験に代るの真只中に生きて、すべく、それよりも個性的で、開放的で自分の目で確認できるという、ことですから、研究者として、こ

近頃、世界はめまぐるしく変化しており、それらを国際法的に解決するだけで息切れしそうな状況です。しかし視点を変えれば、時としても今日ほど賑わい時代ではない代々の革新の真只中に生きて、すべく、それよりも個性的で、開放的で自分の目で確認できるという、ことですから、研究者として、こ



良昭 清水 良昭
(四期卒)

平成3年度 大学合格者数

<国公立大学>

大 学	現 役 生	過年度生	合 計	大 学	現 役 生	過年度生	合 計	大 学	現 役 生	過年度生	合 計
北海道	1(1)	1(0)	2(1)	埼玉	10(8)	7(9)	17(17)	新潟	0(0)	2(0)	2(0)
北海道教育	0(0)	1(0)	1(0)	千葉	3(2)	2(3)	5(5)	富山	0(0)	1(0)	1(0)
宝塚工業	0(1)	1(0)	1(1)	東 京	1(0)	1(0)	2(0)	山梨	1(0)	0(0)	1(0)
小樽商科	1(0)	0(1)	1(1)	東京医歯	0(0)	1(0)	1(0)	信州	1(1)	1(0)	2(1)
弘 前	1(1)	0(0)	1(1)	東京外語	1(0)	0(0)	1(0)	京 都	0(0)	1(0)	1(0)
東 北	2(4)	4(1)	6(5)	東京農工	2(0)	1(2)	3(2)	高崎経済	4(1)	3(5)	7(6)
岩 手	1(0)	0(0)	1(0)	東京工業	0(2)	2(0)	2(2)	東京都立	2(2)	1(3)	3(5)
山 形	4(1)	1(0)	5(1)	東京高給	1(1)	0(0)	1(1)	都2科学振	1(0)	1(0)	2(0)
福 島	1(1)	1(1)	2(2)	東京水産	0(1)	1(0)	1(1)	横浜国立	5(4)	1(1)	6(5)
茨 城	1(1)	1(0)	2(1)	電気通信	1(2)	4(3)	5(5)	岐阜薬科	0(0)	1(0)	1(0)
宇 都 宮	1(1)	0(2)	1(3)	一 橋	0(0)	1(1)	1(1)	その他	0(7)	0(7)	0(14)
群 馬	0(0)	1(0)	1(0)	横浜国立	3(3)	1(2)	4(5)	合 計	49(45)	44(41)	93(86)

<大 学 校>

大 学 校	現 役 生	過年度生	合 計	大 学 校	現 役 生	過年度生	合 計	大 学 校	現 役 生	過年度生	合 計
鳥 巢	9(7)	0(2)	9(9)	航空保安	0(0)	1(0)	1(0)	水 産	0(0)	1(0)	1(0)
合 計	9(7)	0(2)	9(9)	合 計	9(7)	2(3)	11(10)				

<私立大学>

大 学	現 役 生	過年度生	合 計	大 学	現 役 生	過年度生	合 計	大 学	現 役 生	過年度生	合 計
北海道経済	0(0)	1(0)	1(0)	昭和薬科	3(1)	1(0)	4(1)	立 正	3(2)	6(4)	9(6)
足利工業	1(0)	0(4)	1(4)	成 成	17(22)	15(16)	32(38)	早 稲 田	14(18)	34(28)	48(46)
埼玉工業	1(3)	0(2)	1(5)	成 城	6(2)	8(5)	14(7)	神 奈 川	7(5)	12(8)	19(13)
城 西	37(33)	8(6)	45(39)	専 修	5(9)	10(11)	15(20)	神奈川工科	1(4)	4(4)	5(8)
駿 河 台	8(3)	16(3)	24(6)	大東文化	23(14)	31(24)	54(38)	開成学院	1(0)	4(2)	5(2)
聖 学 院	0(0)	2(1)	2(1)	高千穂商科	2(0)	4(1)	6(1)	湘南工科	0(3)	2(2)	2(5)
東京国際	11(7)	14(5)	25(12)	拓 殖	3(2)	13(7)	16(9)	東京工業	2(7)	2(2)	4(9)
徳 島	4(7)	9(4)	13(11)	玉 川	4(2)	2(4)	6(6)	西東京科学	0(0)	1(1)	1(1)
日本工業	0(1)	2(1)	2(2)	中 央	19(16)	27(26)	46(42)	同 志 社	0(0)	1(0)	1(0)
文 教	0(0)	2(0)	2(0)	帝 京	12(3)	7(4)	19(7)	立 命 館	3(2)	1(3)	4(5)
明 海	4(6)	6(2)	10(8)	東 海	11(13)	8(19)	19(32)	関 西	0(0)	1(1)	1(1)
千葉工業	8(2)	2(8)	10(10)	東京経済	5(11)	16(11)	21(22)	近 畿	0(2)	1(0)	1(2)
千葉商科	2(2)	9(0)	11(2)	東京工科	2(1)	1(1)	3(2)	開成学園	4(0)	0(0)	4(0)
中央学院	3(1)	5(1)	8(2)	東京電気	21(23)	14(28)	35(51)	産 経	1(0)	1(0)	2(0)
東京情報	0(0)	1(1)	1(1)	東京農業	7(5)	5(1)	12(6)	山梨学院	1(0)	1(0)	2(0)
青山学院	13(6)	15(13)	28(19)	東京薬科	0(1)	1(2)	1(3)	江 戸 川	0(0)	2(0)	2(0)
香 川 大	6(5)	7(9)	13(14)	東京理科	13(11)	15(19)	28(30)	関西学院	0(0)	2(0)	2(0)
桜 美 林	1(0)	1(0)	2(0)	東 邦	0(1)	3(3)	3(4)	石巻専修	1(0)	0(0)	1(0)
学 芸 院	3(3)	2(4)	5(7)	東 洋	20(25)	38(23)	58(48)	順 天 堂	1(0)	0(0)	1(0)
北 早	4(3)	1(1)	5(4)	日 本	56(64)	56(55)	112(119)	福 岡	1(0)	0(0)	1(0)
杏 林	0(0)	1(1)	1(1)	法 政	9(14)	17(28)	26(42)	敬 愛	0(0)	1(0)	1(0)
慶応義塾	3(3)	9(8)	12(11)	星 条 科	2(0)	0(1)	2(1)	二松学舎	0(0)	1(0)	1(0)
工 学 院	17(18)	15(15)	32(33)	武 蔵	1(6)	7(7)	8(13)	多 摩	0(0)	1(0)	1(0)
国 学 院	0(1)	4(0)	4(1)	武蔵工業	3(2)	3(3)	6(5)	豊 登	0(0)	1(0)	1(0)
国士館	11(5)	11(2)	22(7)	明 治	20(14)	30(32)	50(46)	大阪芸術	0(0)	1(0)	1(0)
駒 沢	4(8)	9(15)	13(23)	明治学院	17(5)	7(4)	24(9)	大阪工業	0(0)	1(0)	1(0)
慈清工業	4(5)	8(7)	12(12)	明治薬科	11(3)	1(1)	12(4)	大阪産業	0(0)	1(0)	1(0)
上 智	7(2)	9(8)	16(10)	明 星	1(2)	8(3)	9(5)	大阪学院	0(0)	1(0)	1(0)
環 和	3(1)	1(2)	4(3)	立 教	7(10)	13(11)	20(21)	その他	0(8)	0(15)	0(23)
合 計	495 (458)	614 (543)	1109 (1001)								

※ ()内は2年度合格者数

